

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 21

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43798

井内
ペ
ー
パ
ー
フ
ィ
ン
グ
ス
レ
ィ
ン
グ

在沖繩VOA活動継続の可否に関する問題
昭和四四・九・一
外務省アメリカ局

問題

1 (大蔵) 9.1 局長 599号
2 次長
3 参事
4 参事
5 参事
282-1 大蔵 5
-2-2 在米
出1-1 在米
出1-1 II 77111
IX-8
IX-17
IX-25

米側より返還後も沖繩に現存のヴォイス・オブ・アメリカ (VOA) 中継施設の活動継続についての合意を求め越しているのに
対する当方態度の決定。

(一) 拒否の場合の対米問題 | 特に返還交渉の成否への影響
(二) 受諾の場合の対内問題

事情

(一) VOA施設二カ所 (詳細別途説明) は規模巨大・設備高価で
移転はきわめて困難 (同施設は太平洋・極東のVOA網にとり

極秘
無期限
5 部の内
1号

北米一課長
(282-II 77111に於て)

不可欠で、廃止はきわめて困難の由。

(二) 同施設は国務省系の米情報庁 (OSIA) 直轄で、軍施設で
はなく、復帰後は地位協定の対象とならない (米側の合意要請
も右に因る。なお、英その他各国とは種々協定締結)。

(三) 放送内容は本國で作成 (現地は中継のみ)、音楽、ニュース
及び解説が三本柱、傾向は客観的、中立的といわれる。

拒否の場合の問題

(一) 返還交渉への影響 | 米側の反応

(二) 対日反感 | 日米基本認識及び姿勢の差違への意外感

(三) 困惑 | (1) 国務省自体の被害による対軍部、対議会説得力
の低下、(2) 対議会予算要求の困難 (緊縮ムード及び返還によ

る出費節約」の脱得逆効果）、(4)沖繩外移転先確保等の實際的問題。

(5) 撤去または移転経費の対日請求が予想される。

(6) 返還交渉の他の諸問題との絡み合いによる交渉への悪影響。

(7) 当方の決意を要する点

(8) 返還交渉の困難（場合によつては長期化）

(9) 財政負担（(1)参照、算出困難なるも概略二千万ドルの見込）及び現地の後始末への介入。

(10) 將來日米関係上尾を引くこと―米首脳部の対日猜疑心

受諾の場合の問題―当方の決意を要する点

(11) 内政上の問題

(1) 主として中共関係面での対米協力の非難への対処

(2) 現地反対運動への対処（従来の公害問題は目下おおむね解決済、目下小康中）

(3) 技術的諸問題の解決への協力

(4) 政府が対米約束できるのは活動の継続のみ。

(5) それ以外の土地、電波割当、電波障害等は既存法令、私法上の契約及び要すれば特別立法の枠内で解決。

諸否いずれの場合でも対米交渉上のタイミングについての問題点

(6) 外務大臣訪米の際

先方より触れてくれば、「目下検討中」（米側資料未提出の

事情もある。(として書くことも一法。

(4) 総理訪米前

- (1) 拒否の場合一なるべく早い時期に判然とさせることとせしむ。
- (2) 受諾の場合は、先方の出方に応ずることしかるべし。